

様式第7号（第21条関係）

番 号
令和5年 6月 30日

佐賀県県民協働課長 様

住 所 佐賀市西与賀町厘外 964-3
団 体 名 一般社団法人文化芸術の泉アール・フォンテヌ
代表者職・氏名 代表理事 古川久美子
電話番号 090-7163-7120

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和4年度において当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 活用実績報告書（様式第7号 別紙1）
- 2 収支決算書（様式第7号 別紙2）

(様式第7号 別紙1)

令和4年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

団体名 一般社団法人文化芸術の泉アール・フォンテヌ

1 事業実施期間 令和4年4月1日から 令和5年3月31日まで

2 事業の成果（県民の便益にどのようにつながったのかについて記載）

※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、成果・効果の見込みを記入してください。

小城鍋島家で人気である「薬膳カレー」をテイクアウトとして通常提供していたが、レトルト商品としての試作品を製作し、実験的にお客様の反応や、ご意見を頂くことができました。子育て世代の母親たちに大変喜ばれたのでニーズがあるのがわかった。

屋敷の畑を手伝ってくださる地域の方々と周りの庭木・花と手入れし喜んでいただく空間づくりを実施した。

7周年記念では1か月様々なイベントを開催し、新聞にも取り上げられ来場者も増加した。

3 寄附金を活用して行った事業の実施に関する事項

(1) 今年度寄附金を活用して行った事業（GCFを行った場合はGCF名とその内容を記載）

事業名	具体的な事業内容	(A)実施日時 (B)実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の支出金額 (単位：千円)
①商品開発事業	薬膳カレーをレトルトパック化	(A)5月～ (B)就労支継続支援B株式会社イエローキッチンとの連携 (C)10人	(D)県内子育て世代 (E)100人	105
②ゲストハウス事業	庭の整備と宿泊できるスペース作り	(A)11月～ (B)小城鍋島家 (C)10人	(D)県内古民家好きの方 (E)500人	1890
③カフェギャラリー事業	7周年記念イベント	(A)7月 (B)小城鍋島家 Ten (C)5人	(D)古民家に興味のある方 (E)500人	215

(2) 次年度繰越金が発生する場合、その活用見込み

事業名	具体的な事業内容	(A)実施日時 (B)実施場所	事業費の支出金額 (単位：千円)
①		(A) (B)	

(様式第7号 別紙2)

収 支 決 算 書

区 分		決算額 (円)	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	1,893,162	1回目 293,000円 2回目 382,500円 3回目 238,462円 4回目 979,200円
	本部事業より(小城鍋島家カフェ)	1,069,659	
	収入計	2,962,821	
支 出	○商品開発事業		
	謝金	76,000	
	印刷製本費	29,597	
	○ゲストハウス事業		
	謝金	48,000	
	改装費	1,745,000	
	消耗品	97,161	
	○カフェギャラリー事業		
	謝金	76,500	
	印刷製本費	20,750	
	消耗品	117,950	
	返礼品等の調達に係る費用	540,453	
	返礼品等の送付に係る費用	8,800	
	ふるさと納税の広報に係る費用	33,100	
	ふるさと納税の事務に係る費用	169,510	
支出計	2,962,821		

○GCF を行った場合は、GCF の事業単位で支出を区分して記載してください。その他の事業についてもできるだけ事業単位で記載してください。

○支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。経理上の区分名で記載して構いません。

○領収書等は事業終了後5年間保存してください。